

表彰

〔2024年度学会賞受賞者〕

- 井原 敏博 君（熊本大学大学院先端科学研究部・教授）
 研究業績 合成核酸を利用した生体分析に関する研究
- 坪井 泰之 君（大阪公立大学大学院理学研究科・教授）
 研究業績 光共鳴ピンセット技術の開発と分析化学への応用
- 藤浪 眞紀 君（千葉大学大学院工学研究院・教授）
 研究業績 陽電子消滅法による原子空孔分析の高度化

〔2024年度学会功労賞受賞者〕

- 齋藤 徹 君（北見工業大学・教授）
 研究業績 水系分離化学の設計と応用技術の開拓および分析化学教育への貢献
- 茶山 健二 君（甲南大学理工学部・教授）
 研究業績 新規な溶媒抽出試薬創製とイオン液体抽出デバイスの開発および学会への貢献

〔2024年度奨励賞受賞者〕

- 熊谷 将吾 君（東北大学大学院工学研究科・准教授）
 研究業績 有機炭素資源利用プロセス開発への熱分解ガスクロマトグラフィーの応用
- 宋和 慶盛 君（京都大学大学院農学研究科・助教）
 研究業績 電気分析化学と構造生物学による直接電子移動型酵素の反応機構解明
- 外間 進悟 君（京都工芸繊維大学・助教）
 研究業績 細胞内の物理化学量を分析するナノ計測技術の開発と応用
- 中村 圭介 君（(国研)産業技術総合研究所計量標準総合センター・主任研究員）
 研究業績 HPLCにおける保持機構解明および同位体希釈質量分析法による精確定量法の開発

〔2024年度先端分析技術賞受賞者〕

JAIMA 機器開発賞

- 小池 雅人 君（(国研)量子科学技術研究開発機構・客員研究員）
- 寺内 正己 君（東北大学多元物質科学研究所・教授）
- 村野 孝訓 君（日本電子(株)・グループ長）
- 大上 裕紀 君（(株)島津製作所・主任）
- 越谷 翔悟 君（日本電子(株)・主事）
- 垣尾 翼 君（(株)島津製作所・主任）
 研究業績 軟X線ホログラフィック不等間隔溝回折格子の開発と高分解能発光分光システムへの応用

〔2024年度女性 Analyst 賞受賞者〕

- 中川 沙織 君（新潟薬科大学医療技術学部・教授）
 研究業績 生体中のコレステロール合成・吸収・代謝物の高感度定量法の開発と臨床応用
- 西垣 敦子 君（東邦大学理学部・教授）
 研究業績 環境試料中の有機汚染物質の新規分析法の開発及び環境動態の解析

お知らせ

〔2024年度有功賞受賞者〕（敬称略）

井上 淳	住鋁テクノロジー株式会社	浅野 貴男	JFE テクノリサーチ株式会社
曾我 賢一	住友金属鋁山株式会社	野村 浩市	JFE テクノリサーチ株式会社
岩崎 敏治	(株)東ソー分析センター	菊池 昌宏	JX 金属株式会社
本川 睦文	(株)東ソー分析センター	久保井幸代	JFE スチール株式会社
末松 浩一	(株)日立ハイテクフィールドディング	都木 健司	デンカ株式会社
橘 宣幸	(株)日立ハイテクフィールドディング	吉永 文博	三井金属鋁業株式会社
庄司 哲弘	日産化学株式会社	矢橋 昭久	味の素株式会社
渡辺 義市	(株)日立ハイテクサイエンス	森田 浩之	富士フイルム和光純薬株式会社
橋本 敬子	(株)三井化学分析センター	酒寄 和紀	(株)レゾナック
大平 義途	(株)三井化学分析センター	石黒 茂樹	(株)レゾナック・セラミックス
吉原 英樹	(株)三井化学分析センター	柳内 厚人	(株)レゾナック
神成かおり	(株)三井化学分析センター	松原 龍一	三菱重工業株式会社
中島 礼子	(株)三井化学分析センター	鷺尾 勝利	(株)UBE 科学分析センター
秋馬 立幸	(株)住化分析センター	長谷川博子	(株)東レリサーチセンター
佐々木康晴	(株)住化分析センター	林 裕美	(株)東レリサーチセンター
藤井三千男	三菱ケミカル株式会社	酒井 公人	東芝ナノアナリシス株式会社
小山純一郎	旭化成株式会社	秋元 忠親	DOWA テクノリサーチ株式会社
池田 陽彦	(株)東洋検査センター	田中 美樹	DOWA テクノリサーチ株式会社
沖 真一	(株)トクヤマ	楠本 義幸	MHI ソリューションテクノロジーズ株式会社
佐藤 正光	三菱マテリアル株式会社	坂本 美鶴	(株)大同分析リサーチ
山本 珠永	(株)コベルコ科研	今野 正雄	日鉄テクノロジー株式会社
平澤 悟士	JFE テクノリサーチ株式会社	御手洗利則	日鉄テクノロジー株式会社
池田 慶一	JFE テクノリサーチ株式会社	吉田 昌弘	日鉄テクノロジー株式会社

第399回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー (LC) 研究懇談会

後援 (公社)日本薬学会 (申請中), (公社)日本化学会, (公社)日本農芸化学会, (公社)日本分析化学会

J. J. Kirkland がシリカ系充填剤を用いた HPLC を発表したのが 55 年前の 1969 年であり, 今年は 55 年周年にあたります。装置メーカー・カラムメーカーから, 現在に至る HPLC 製品の変遷など各メーカーの歴史を交え, HPLC の発展について語り合いの場を作ります。

期日 2024 年 9 月 20 日 (金) 13.00~17.15

会場 (株)島津製作所東京支社イベントホール (神田) [東京都千代田区神田錦町 1-3, 交通: ①地下鉄: 都営新宿線「小川町」駅, 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅, 東京メトロ丸の内線「淡路町」駅の B7 出口より徒歩 6 分, 東京メトロ銀座線神田駅より徒歩 10 分, ②JR「神田」駅西口より徒歩 10 分]

<https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/tokyo.html>

講演主題 HPLC 提唱後 55 周年記念 HPLC の歩み

講演

講演主題概説 (オーガナイザー) (13.00~13.05)
(株)クロマニックテクノロジーズ 長江徳和
(LC 分析士二段)

1. クロマトグラフィーの創始から HPLC の今日迄
(13.05~13.35)

(株)島津総合サービス リサーチセンター) 三上博久
(LC マイスター, LC/MS 分析士初段)

2. 日立高速アミノ酸分析計の歩み (13.35~14.05)
(株)日立ハイテクサイエンス) 清水克敏
(LC 分析士二段, LC/MS 分析士初段)

3. 20 年目を迎える超高速 LC (14.05~14.35)
(日本ウォーターズ(株) 島崎裕紀
(LC 分析士三段, LC/MS 分析士二段)

4. 充填剤開発の歴史と今後の発展 (14.35~15.05)
(東ソー(株) 伊藤誠治
(LC 分析士五段, LC/MS 分析士二段)

休憩 (15.05~15.25)

5. 担体自社合成の強みと新しい市場へのチャレンジ
(15.25~15.55)
(ジーエルサイエンス(株) 太田茂徳
(LC 分析士初段)

6. LC-MS インターフェイスの変遷 (15.55~16.25)
(エムエス・ソリューションズ(株) 高橋 豊
(LC 分析士二段, LC/MS 分析士五段)

7. 総括「HPLC 提唱後 55 周年記念 HPLC の歩み」
(16.25~16.55)
(東京理科大学) 中村 洋
(LC マイスター, LC/MS マイスター)

参加費 ①学生: 1,000 円, ②LC 懇・個人会員: 2,000 円, ③LC 懇・団体会員: 3,000 円, ④後援学会・個人会員: 4,000 円, ⑤後援学会・団体会員: 4,500 円, ⑥その他: 5,000 円。

参加申込締切後の受付はできませんので, ご了承ください。

情報交換会 終了後, 講師を囲んで情報交換会を開催します (会費 5,000 円)。参加申込締切後のご参加はできませんので, ご了承ください。

申込締切日 9 月 13 日 (金) (入金締切時刻: 15 時まで)

申込方法

1. 参加希望者は, 下記申込先にアクセスし, 氏名, 勤務先 (電話番号), LC 研究懇談会・個人会員, 協賛学会・個人会員, その他の別および情報交換会参加の有無を明記

のうえ, お申込みください。なお, 参加者名と振込者名が違う場合は, 参加申込書の連絡事項欄に振込者名を明記してください。

2. お申込みが完了した場合には, 登録されたアドレスに「第 399 回液体クロマトグラフィー研究懇談会申込受付 (自動返信)」のメールが届きます。メールが届かない場合は, 世話人までお問い合わせください。

3. 申込受付のメールを受領後, 必ず期限内に研究懇談会参加費, 情報交換会費の納入を行ってください。期限内に納入が確認できない場合, お申込みを無効とし参加 URL を発行しませんので, 十分ご注意ください。当日払いは受け付けません。なお, いったん納入された参加費は, 返金いたしません。

4. 参加費の納入が確認できた方には, 2024 年 9 月 14 日以降に要旨集をメールにてお送りいたします。必要に応じてプリントアウトしてご参加ください。なお, 請求書の発行はいたしておりません。

液体クロマトグラフィー研究懇談会 (例会) 参加費送金時のご注意

例会参加費, 情報交換会費を送金される場合, 下記を禁止しておりますので, ご理解のほどよろしくお願いいたします。

1. 複数例会の参加費の同時振込
(→例会ごとに振り込んでください)
2. 複数参加者の参加費の同時振込
(→参加者ごとに振り込んでください)
3. 年会費や他の費用との合算振込
(→費目ごとに振り込んでください)

申込先 <https://forms.gle/znbTRFGt4L1n4eNw9>

(学生申込者は, 所属欄に大学名, 学部, 学年を記載)

銀行送金先 りそな銀行五反田支店 (普通) 1754341, 口座名義: シヤ) ニホンブンセキカガクカイ [公益社団法人日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会]

問合先 (公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会 世話人 (株)クロマニックテクノロジーズ 長江徳和 [E-mail: nagae@chromanik.co.jp]

入門触媒科学セミナー

主催 (一社)近畿化学協会触媒・表面部会
協賛 (公社)日本分析化学会近畿支部ほか

期日 2024 年 10 月 8 日 (火)・9 日 (水)

会場 大阪科学技術センター 7 階 700 号室

プログラム

第 1 日 (8 日) 10 時~17 時

1. 開会挨拶 (阪大院基礎工) 満留敬人
2. 触媒科学の基本概念—これだけは知っておこう— (関西大環境都市工) 池永直樹
3. 遷移金属錯体触媒—錯体の基礎と有機合成触媒反応— (阪公大院理) 亀尾 肇
4. 固体表面の酸・塩基点とその触媒機能 (阪公大院工) 田村正純

交流懇親会 (無料)

第 2 日 (9 日) 10 時~17 時

5. 金属酸化物触媒—多様な触媒機能の宝庫— (京都工繊大材料化学系) 細川三郎
6. 金属ナノ粒子触媒—構造と触媒作用及び設計法— (阪大院基礎工) 満留敬人
7. 触媒調製化学—基礎から最近のナノ構造触媒まで— (阪大院工) 桑原泰隆
8. 閉会挨拶 (阪大院基礎工) 満留敬人

参加費・申込方法 詳細は

<https://kinka.or.jp/catalytic/> をご参照ください。

申込締切 9月12日(木)

申込・問合せ先 〒550-0004 大阪市西区鞠本町1-8-4 近畿化学協会触媒・表面部会〔電話：06-6441-5531, FAX：06-6443-6685, E-mail：catal@kinka.or.jp〕

2024年度関東支部 「新世紀賞」・「新世紀新人賞」 候補者募集

関東支部では2000年より新世紀賞および新世紀新人賞を設け、表彰を行っています。2024年度も下記のとおり募集しますので、適当な候補者がおられましたら、ご推薦の程お願いいたします。

2023年1月13日から新しい支部表彰規定が施行されました。詳しくは関東支部HP (<https://kanto.jsac.jp>) をご覧ください。

新世紀賞資格 ①2024年4月1日現在で満39歳以上54歳以下の者で関東支部所属の正会員。ただし、上限年齢を超えても受け付ける場合*がある。②研究業績は、本会論文誌またはその他の論文誌に公表されたものでなければならない。③受賞の基礎となる研究業績が共同研究の場合は、主たる研究者について適用する。④候補者となるべきものは会員の推薦によるものとする(自薦を含む)。

*上限年齢は、研究職からの異動、産休・育休、また長期療養などのライフステージを考慮する。

新世紀新人賞資格 ①2024年4月1日現在で満38歳以下の関東支部所属の正会員。②研究業績は、本会論文誌またはその他の論文誌に公表されたものでなければならない。③受賞の基礎となる研究業績が共同研究の場合は、主たる研究者について適用する。④候補者となるべきものは会員の推薦によるものとする(自薦を含む)。⑤ただし、日本分析化学会奨励賞受賞者は除く。

提出書類

新世紀賞 ①推薦書(関東支部HP (<https://kanto.jsac.jp/award/>) よりダウンロードしてください)、②推薦理由書(A4判を縦(1行45字×40行)に使用し、本文および文献リスト(主要論文等)を合わせて3ページ以内で作成すること)、③添付資料(特に重要な論文の別刷、その他審査の参考となる資料)

新世紀新人賞 ①推薦書(関東支部HP(同上)よりダウンロードしてください)、②推薦理由書(A4判を縦(1行45字×40行)に使用し、本文および文献リスト(主要論文等)を合わせて3ページ以内で作成すること)、③添付資料(特に重要な論文・特許等の写し、3編以内)

提出方法 上記書類を電子ファイルとし、推薦者より書類提出先記載のE-mailアドレス宛送信(cc:候補者)のこと(ただし自薦の場合は候補者より送信、いずれも押印不要)。①、②についてはそれぞれ1件のファイルとすること。③については複数のファイル送付も可とするが、必要最小限とすること(いずれもPDFファイルを推奨)。なお、事務局にてメールおよびファイルを受信後、受領通知が送信されるので、確認のうえ、受領通知のメールは保管のこと。送信後1週間以内に受理通知が届かない場合は書類提出先アドレスに必ず問い合わせのこと。

締切日 2024年10月31日(木)必着

書類提出先 日本分析化学会関東支部事務局
〔E-mail：kanto@jsac.or.jp〕

第37回新潟地区部会研究発表会

—講演募集—

主催 (公社)日本分析化学会関東支部・同新潟地区部会

期日 2024年11月1日(金)13時から

会場 新潟大学五十嵐キャンパス 物質生産棟161演習室、1F展示スペース〔新潟市西区五十嵐二の町8050、電話：025-262-7323〕

プログラム

1. 特別講演
2. 招待講演
3. 一般講演
4. ポスター発表

一般講演・ポスター発表申込方法 電子メールに一般講演・ポスター発表の別、講演題目、発表者名(講演者に○印)、所属、連絡先を記入のうえ、下記の締切日までに申し込みください。講演要旨集作成要領をお送りします。

一般講演の申込締切日 2024年8月16日(金)

ポスター発表の申込締切日 2024年9月16日(月)

*ポスター発表の申込期間は延長される可能性もありますので、ご連絡ください。

参加費 無料

申込・照会先 〒950-2181 新潟市西区五十嵐二の町8050 新潟大学理学部 韓 智海〔電話：025-262-7323, E-mail：jhhan@chem.sc.niigata-u.ac.jp〕

LC研究懇談会創立50周年記念会

主催 (公社)日本分析化学会LC研究懇談会

後援 (公社)日本薬学会(申請中)、(公社)日本化学会、(公社)日本農芸化学会、(公社)日本分析化学会、分析士会、LCシニアクラブ

協賛 日本ウォーターズ(株)、(株)北浜製作所、ジーエルサイエンス(株)、(株)プレッパーズ/(株)エムエス・ソリューションズ、(株)日立ハイテクサイエンス、(株)島津製作所、東ソー(株)、(一財)化学物質評価研究機構(社内申請中)、関東化学(株)、アジレント・テクノロジー(株)など

LC研究懇談会は、1974年に当時の(社)日本分析化学会の下部組織として創立され、2024年に創立50周年を迎えます。そこで、実行委員会を組織して本記念会を開催するほか、一連の創立50周年記念出版(記念誌、用語辞典、分析士試験解説書Q&A)、記念品・記念名刺の作成など各種の記念事業を行います。本記念会の参加者には、「創立50周年記念誌」と記念品を贈呈します。

日時 2024年12月3日(火)

会場 第1部～第3部：北とびあ・スカイホール(14階)〔東京都北区王子1-11-1、電話：03-5390-1100、交通：①JR京浜東北線「王子」駅北口より徒歩2分、②地下鉄南北線「王子」駅下車5番出口直結、③都電荒川線「王子駅前」駅より徒歩5分〕

<https://www.hokutopia.jp/>

第4部：北とびあ・レストランVIEW & KITCHEN QUAD17(17階)

プログラム

レセプション 伊藤誠治(東ソー(株))
映像・音声 榎本幹司(栗田工業(株))
総合司会 井上剛史(株)北浜製作所)

第1部 記念式典(13.00～14.00)

開会の辞 (公社)日本分析化学会・LC研究懇談会委員長、創立50周年記念事業実行委員長(東京理科大学)中村 洋

祝辞

(一財)化学物質評価研究機構・理事長 今田中伸哉
(公社)日本分析化学会・関東支部長(日本大学)四宮一総
褒賞

- ①研究支援感謝状
(一財)化学物質評価研究機構 今田中伸哉
- ②創立 50 周年特別功労賞
(株)島津総合サービス リサーチセンター) 三上博久
- ③ホームページ管理特別感謝状
(株)ライフ 勝田 啓
- ④「ぶんせき」会告掲載感謝状
(日本分析化学会) 三浦隆志
- ⑤経理アドバイザー感謝状
(日本分析化学会) 田中久光
- ⑥創立 50 周年記念懸賞論文優秀賞
- ⑦永年会員表彰 (30 年)

個人の部 (7 名): 中村 洋, 前田恒昭, 松崎幸範, 岡橋
美貴子, 浜瀬健司, 宮野 博, 浜崎敦子

団体の部 (12 社): ジーエルサイエンス(株), 第一三共(株)製
薬技術本部, 日産化学(株), 昭和産業(株), (株)フジクラ, 東
京化成工業(株), 関東化学(株), (株)日立ハイテクサイエン
ス, (株)味の素, 大日精化工業(株), 富士シリシア化学(株),
アジレント・テクノロジー(株)

記念撮影 (参加者全員の集合写真)

第 2 部 記念講演会 (14.00~15.35)

14.00~14.45 (座長: 三上博久)

LC 研究懇談会の来し方, 行く末

(創立 50 周年記念事業実行委員長) 中村 洋

14.50~15.35 (座長: 熊谷浩樹)

題目未定

(日本分析化学会・2024 年度関東支部長) 四宮一総

第 3 部 記念座談会「老若男女と LC」 (15.40~16.50)

司会: 中村 洋, パネリスト: 石井直恵 (メルク), 太田茂
徳 (ジーエルサイエンス), 熊谷浩樹 (LC シニアクラブ),
坂本和則 (関東化学), 清水克敏 (日立ハイテクサイエン
ス), 竹澤正明 (東レリサーチセンター), 寺田英敏 (島津
製作所), 濱崎保則 (太田胃散)

第 4 部 記念祝賀会 (17.30~19.30)

司会: 褒賞小委員長・岡橋美貴子 ((一社)臨床検査基準測定
機構)

①開会挨拶, ②来賓祝辞, ③乾杯, ④協賛企業等ノベル
ティーグッズ抽選会

・分析士試験解説書全 30 冊: 選り取り何冊? 引換券
(LC 研究懇談会)

特賞: 10 冊 (1 名), 金賞: 5 冊 (1 名), 銀賞: 2 冊 (2 名),

銅賞: 1 冊 (10 名)

・企業ノベルティーグッズ

第 1 部~第 3 部参加費 ① LC 研究懇談会・個人会員, 学生:
2,000 円, ② LC 研究懇談会・団体会員: 3,000 円, ③後援学
会・個人会員: 4,000 円, ④後援学会・団体会員: 5,000 円,
その他: 6,000 円. 参加申込締切後の受付はできませんので,
ご了承ください.

第 4 部参加費 講演終了後, 講師を囲み情報交換会を開催し
ます (会費 5,000 円). 参加申込締切後のご参加はできませ
ないので, ご了承ください.

申込締切日 2024 年 11 月 26 日 (火) (入金締切時刻: 15 時
まで)

申込方法 (対面方式のみ, Web 参加はありません)

1. 参加希望者は, 下記申込先にアクセスし, 氏名, 勤務先
(電話番号), LC 会員: 協賛学会会員・その他の別およ
び情報交換会参加の有無を明記のうえ, お申込みくださ
い. なお, 参加者名と振込者名が違う場合は, 参加申込
書の連絡事項欄に振込者名を明記してください.

2. お申込みが完了した場合には, 登録されたアドレスに
「創立 50 周年記念会申込み受付 (自動返信)」のメール
が届きます. メールが届かない場合は, ①入力したご自
分のアドレスに間違いがないか, ②迷惑メールフォル
ダーをご確認のうえ, 世話人までお問い合わせください.
3. 申込受付メールを受領後, 必ず期限内に参加費の納入を
行ってください. 期限内に参加費納入が確認できない場
合, 参加申込みを無効としますので, 十分ご注意ください
い. なお, いったん納入された参加費は, 返金いたしま
せん. また, 請求書の発行はいたしておりません.

**液体クロマトグラフィー研究懇談会 (例会) 参加費送金時のご
注意**

例会参加費, 情報交換会費を送金される場合, 下記を禁止し
ておりますので, ご理解のほどよろしくお願いいたします.

1. 複数例会の参加費の同時振込
(→例会ごとに振り込んでください)
2. 複数参加者の参加費の同時振込
(→参加者ごとに振り込んでください)
3. 年会費や他の費用との合算振込
(→費目ごとに振り込んでください)

申込先 <https://forms.gle/mzL2j8HCsmY4SRvi9>

(学生申込者は, 所属欄に大学名, 学部, 学年を記載)

銀行送金先 りそな銀行五反田支店 (普通) 1754341, 口座名
義: シヤ) ニホンブンセキカガクカイ [公益社団法人日本分
析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会]

問合先 (公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究
懇談会 世話人 東京理科大学 中村 洋
[E-mail: nakamura@jsac.or.jp]

—以下の各件は本会が共催・協賛・
後援等をする行事です—

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

初心者のための電気化学測定法—実習編（現地）

主催（公社）電気化学会
 期日 2024年9月3日（火）・4日（水）
 会場 東京理科大学野田キャンパス
 ホームページ
<https://www.electrochem.jp/seminar/>
 連絡先 〒101-0065 東京都千代田区西神田3-1-6 日本弘道会ビル7階（公社）電気化学会事務局
 [電話：03-3234-4213, E-mail：seminar@electrochem.jp]

初心者のための電気化学測定法—実習編
（オンデマンド配信）

主催（公社）電気化学会
 期日 2024年10月1日（火）午前9時～9日（水）午後5時
 会場 オンデマンド（Vimeoにてストーリーミング配信）
 ホームページ
<https://www.electrochem.jp/seminar/>
 連絡先 〒101-0065 東京都千代田区西神田3-1-6 日本弘道会ビル7階（公社）電気化学会事務局
 [電話：03-3234-4213, E-mail：seminar@electrochem.jp]

2024年日本表面真空学会学術講演会

主催（公社）日本表面真空学会
 期日 2024年10月20日（日）～24日（木）
 会場 北九州国際会議場
 ホームページ
<https://pub.conf.it.atlas.jp/en/event/jvss2024>
 連絡先 〒113-0033 東京都文京区本郷5-25-16 石川ビル5階（公社）日本表面真空学会事務局
 [電話：03-3812-0266, E-mail：taikai2024@jvss.jp]

連合年会 2024
（第37回日本イオン交換研究発表会・
第43回溶媒抽出討論会）

主催 日本イオン交換学会、日本溶媒抽出学会
 期日 2024年10月31日（木）・11月1日（金）
 会場 水戸市市民会館
 ホームページ
<http://www.solventextraction.gr.jp/symposium/00top.html>
 連絡先 〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1 茨城大学理学部化学コース 大橋 朗 [電話：029-228-8704, E-mail：akira.ohashi.sci@vc.ibaraki.ac.jp]

新アミノ酸分析研究会第14回学術講演会

主催 新アミノ酸分析研究会
 期日 2024年12月13日（金）
 会場 大田区産業プラザ PiO
 ホームページ
<http://jsa3.s2.weblife.me/>
 連絡先 〒351-0198 埼玉県和光市広沢2-1 理化学研究所環境資源科学研究センター 生命分子解析ユニット内 川谷 誠 [E-mail：aminoacidanalysis2011@gmail.com]

「分析化学」年間特集「環」論文募集

「分析化学」編集委員会

2025年は「環」をテーマとすることと致しました。分析化学において「環」は、様々なスケールでの意味を持ちます。たとえば“環境”や“循環”のような大きなスケール、あるいは、多環芳香族炭化水素（PAHs）などの“環状化合物”という小さなスケールです。いずれにおいても、分析化学は重要な役割を果たしています。

本特集では「環」をキーワードとして、基礎・応用を含めた分析化学の“最新の知見”はもちろん、総合論文や分析化学総説といった形で現在の分析化学の“研究の背景”についても広く募集し、分析化学が担う役割を社会に向けて発信することを目的としています。本特集にかかわる論文はすべての論文種目で年間を通じてご投稿いただくことが可能で、審査を通過した論文は、単行の特集号を除く「分析化学」第74巻（2025年）合併号の冒頭に掲載する予定です。国内外、産学官を問わず、「環」にかかわる分析化学の研究・開発に従事されている多くの皆様方からの投稿をお待ちしておりますので、是非この機会をご活用ください。なお、詳細は「分析化学」誌の6号及びホームページをご参照ください。

特集論文申込締切：2024年7月21日（金）（第1期）
 特集論文原稿締切：2024年8月18日（金）（第1期）

「分析化学」特集

“表示・起源分析技術の現在”の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会は、表示・起源分析技術研究懇談会と共同で「表示・起源分析技術の現在」と題した特集を企画しました。表示・起源分析技術研究懇談会は、「分野・分析手法を横断し、起源と表示に関する分析化学的研究を行い、学問の振興及び社会における利用を図る」ことを目的として、2008年12月に設立されました。本特集では、「表示」と「起源」に、関係する論文を様々な分野から基礎・応用を問わず広く募集します。本特集を通じて、他分野からの情報収集も図っていただきたいと思いますので、奮ってご投稿ください。詳細はホームページをご確認ください。

特集論文申込締切：2024年9月27日（金）
 特集論文原稿締切：2024年11月1日（金）